

科目名	健康生活看護学実習(成人)			ナンバリング	PEN251	授業形態	実習
対象学年	3年	開講時期	前期後半・後期前半	科目分類	必修	単位数	6単位
代表教員	狩谷恭子	担当教員	椋山定美				

授業の概要	成人期にある人の健康課題を踏まえ、急性期・周手術期にある患者とその家族、および慢性期にある患者とその家族を、全人的な視点から理解した上で、個々の患者に応じた看護過程を展開する。急性期・慢性期にある患者の健康回復への援助について、科学的根拠に基づいて看護を展開するための基本的知識・技術を修得する。さらに、看護専門職として望ましい態度を身につける。						
到達目標	【急性期実習】 1.健康課題を有している急性期・周手術期にある患者とその家族を、全人的に理解することができる。 2.患者の発達段階や個性、健康課題に応じた看護の必要性を理解し、看護過程を展開することができる。 3.患者とその家族の全人的な理解をもとにした思考過程を基盤とし、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 4.保健医療チームにおける他職種の役割と連携について説明することができる。 5.将来の看護専門職として望ましい態度を身につけることができる。 【慢性期実習】 1.成人期の発達段階・発達課題をふまえ、慢性期にある患者の全体像をとらえることができる。 2.患者の個性に応じた看護計画を立案することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	1.既習の専門基礎科目および、生涯発達看護学(成人)、健康生活看護学(成人概論および成人急性期・周手術期・慢性期・回復終末期)を復習し積極的に臨みましょう。 2.身体面・精神面での健康管理に留意し、欠席が無いようにしましょう。						
ディプロマポリシーとの関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	<input type="radio"/>	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	<input type="radio"/>	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	<input type="radio"/>	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	<input type="radio"/>	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	<input type="radio"/>	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					
	<input type="radio"/>						

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
健康生活看護学実習(成人)評価表の【到達度評価の基準】2~3	健康生活看護学実習(成人)評価表の【到達度評価の基準】3~4

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
実習記録	○	○	○		○		80%
見学実習レポート	○	○	○	○	○		加点はしない 減点となることがある
実習態度・実習への参加			○	○	○		20%

課題、評価のフィードバック	中間カンファレンス、最終カンファレンスおよび最終評価にて適宜フィードバックを行う 実習評価は、要請があればいつでも開示する
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回		健康生活看護学実習(成人)実習要項に準じる	
	第2回			
	第3回			
	第4回			
	第5回			
	第6回			
	第7回			
	第8回			
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験		
授業の進め方				
授業外学習の指示		(授業外学習時間: 毎週 分)		

教科書	ナーシング・グラフィカ 成人看護学①～⑥, メディカ出版
参考書	実習中に適宜紹介する
参考URLなど	特になし
その他	